

第51回市民事業専門委員会の結果概要 (H27. 5. 14)

1 市民事業専門委員会のこれまでの取組成果等【資料3-3】

現行の補助要綱が平成28年度末をもって効力を失うことから、第3期5か年計画の開始に向け、補助団体に対するアンケート調査を行い、制度の検討を行うこととなった。

2 平成27年度市民事業専門委員会活動スケジュール【資料3-4】

平成27年度の市民事業専門委員会の活動スケジュールを、資料のとおり決定した。

3 平成27年度市民事業交流会 企画案【資料3-5】

平成27年度の市民事業交流会は、次のとおり開催することとした。

開催日：平成27年7月4日(土)

開催内容： ファンドレイジング講座

＜場所＞TKPガーデンシティ横浜ランドマークタワー 大会議室

＜講師＞特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

理事 徳永 洋子 氏

＜主な内容＞ ファンドレイジングの基礎

助成金活用のポイント

委員会における主な意見**【市民事業専門委員会のこれまでの取組成果等】**

- アンケート調査では、補助期間が終了したときにどのようなことがあれば活動を続けていけるのか尋ねた方が良さだろう。それに対して何ができるのか、団体に努力すべきところはどこなのか、例えば専門家のアドバイスが欲しいのか、参加者を増やすためのツアーを企画して欲しいのかを知りたい。
- 補助金があるから活動している訳ではないと思うが、補助期間が終了したときに今までと同じレベルの活動ができなくなる団体も多いのではないかと。そこに支援の手を差し伸べることができれば。
- そこはクラウドファンディングだろう。税金の補助期間を終了した団体が集まって協力し合い、資金を集められるようになるとうい。

【市民事業交流会 企画案】

- 団体の意見は、昨年、一昨年のワールドカフェで出尽くしているだろう。
- 意見交換はなしとして、ファンドレイジング講座で完結した方が良さのでは。
- 補助団体は一番NPOらしい活動をしている。そういった人たちが「どうしたら継続して活動していけるか、そのためには県民の共感を呼ばなければいけないよね。」といったものであることが必要。普通の人たちがお互いの垣根を取り払ってゆるやかなネットワークを作り、そういった中から「お金に関してはこうしていこう、人に関してはこうしていこう。」というような。小額のお金をどのように集めるかを話してもらう必要がある。